

第十章

ショーに出場して勝利しよう

ショーで優勝することができたら、それはアメリカンドリームを1つ達成した事になるでしょう。しかし、私は皆さんがショーに出場する前に、すでにくつかの“小さな勝利”を手に行っている事に気付いて欲しいと思います。皆さんはさまざまな挑戦や楽しい時間を通じて、ショーに向けた長い旅をしてきたわけです。ショーに向けてこれまでしてきた事は、ブルーリボンの勲章やトロフィーを勝ち取るための単なる手段ではなく、そうやって努力してきた事が本当に意義のあることなのです。ここで新しい友達と友情を育んだり、また昔の友人と旧交を温めることもできます。この出来事は親と子の、そして先生と学生の特別な共同作業の記憶となって残ります。普段の生活に戻る前に、この“締めくり”を精一杯楽しんでください。学生の皆さんには理解するのが難しいかもしれませんが、年がたつとこれらの時間や記憶がどれだけ特別な宝物なのか分かる時がくるでしょう。

前もって計画を立てよう

ショーに出場するために守らなければならない衛生規定について確認しておかなければなりません。アドバイザーや獣医師に聞いておきましょう。ショーへの出場に健康チェックが求められる場合、ふつうはショーの30~45日前にチェックする事になっています。多くの州で、大会委員の規定の書類に、育成期間中の薬の使用歴について記載し、提出しなければなりません。また、診断名と担当獣医師名、薬剤の残留期間、そして全ての残留期間が守られていることの証明書も添付しなければなりません。

ショーに出場するには、薬剤や衛生規定を厳密に守らなければなりません。「誰も教えてくれなかった。」と委員に言っても通してはくれません。**覚えておいて欲しいのですが、多くの大会で州が公認する健康証明書の提出が求められます。薬剤の使用歴についても提出が求められる場合があります。**

出発する前に、ショーの会場のどこで豚の世話をするか決めましょう。豚の運搬を誰かのトラックに頼んだり、あなたのトラックやトレーラーが小さすぎるときには会場の設備を使わせてもらうようにしましょう。敷き料や餌など、必要なものは事前に運び込んでおきましょう。餌箱や飲水器も、もちろん必要です。

水を飲ませるのに桶を使うと、豚が興奮して桶の中で転がりまわるので使ってはいけません。第一章で説明したような、小さめの塩ビのパイプにニップルを付けた物を使いましょう。ショーの前に豚の体を洗うためのブラシや石鹸も

必要です。小さなスプレー容器と、使用が認められているハエ・アブ用の殺虫剤もあれば便利です。豚をショーの会場や洗い場に連れて行くとき、第一章で説明したハードル板が必要になるでしょう。豚が暴れたり、近くの豚と喧嘩しようとする時にハードル板が役立ちます。洗い場で使うホースと、バケツも 1、2 個必要です。もし友人が近くの豚房を借りていたら、ホースやスプレーを共同で使うと便利です。豚房の片側から扇風機の風を送り、豚を涼ませてやるもの基本的なことです。扇風機は豚が風を受けながら寝転んだり、また風を避けようと思えば避けられるように設置します。

ショーのリングで使う道具は、ふつうステッキかムチです。豚の肌艶を良く見せるためには“ショーシーン”や“パープルオイル”などの製品が使われます。**これらの製品の使用が認められていないショーもたくさんあるので、ルールを確認してください。**豚にオイルを使う時、もう 1 つ気をつけなければならないことは、いつオイルを豚に塗るかです。オイルは豚の体を遮熱するので、体温が上がりすぎてしまう事があります。リングに上がる前に、豚にスプレーで水をかけて扇風機の風を当ててやりましょう。オイルの使用が認められていない場合、アマニ粉などの食べさせるサプリメントもあります。ショーの 2、3 週間前から食べさせると、オイルを使わなくても皮膚の表面に自然な光沢ができます。豚への使用が認められていないカラースプレーを使うと、屠畜場で USDA の検査官から処分される事があるので気をつけましょう。ルールを確認した後で、ショーに出展しているグッズ屋でどんなものが買えるか見てみましょう。

ショーによっては豚の毛刈りが認められている場合があります。豚の毛刈りはオスター社やアンディス社のバリカンで、10～15 番の刃を使うとやりやすいです。切れなくなったり歯が折れたりするので替え刃を用意しておきましょう。ルールで認められているか確認するまでは、絶対に毛刈りをしてはいけません。

ショーの会場には朝早く到着するようにしましょう。移動するのは涼しい日が一番いいのですが、夜明け前や日没後の涼しい時間帯に移動する方法もあります。豚をトラックから下ろす時が意外と難所になったりします。ショーの時間が近づくとつれて、参加者が増えて会場が盛り上がってきます。豚の積み下ろし場で、作業中に旧友と再会する事もあるでしょう。また、親や先生、ショーの役員や学生たちの間でも気持ちが高ぶってきます。冷静に！豚を豚房に収容し、体重測定や全ての記録がつけ終わるまでショーは始まりません。

豚がショーの間に脱水症にならないように、水にも気を使いましょう。家から豚の飲み水を持っていくのもいい方法です。豚は慣れていないところの水だと十分に飲まないことがあります。これを防ぐため、家で水をやる時にラズベリー味のジェロー（ゼリー状のお菓子で水に溶いて飲みます）を混ぜてやり、

ショーの会場でも同様に与えます。ほとんどの豚はラズベリー味が好きなようです。ショーの喧騒に豚をならすため、ショーの数週間前からラジオを大きな音で聞かせておきましょう。ショーの間もラジオを聞かせておくと、豚が落ち着きます。

ショーの日に向けた計画

ショーに向けた計画と作業のリストをきちんと作っておくと、この大きなイベントが近づいても不安になることはないでしょう。豚の世話が終わったあと、服を着替えてさっぱりできるように着替えを持っていきましょう。白いシャツと清潔なジーンズが適当だと思います。ぴっちりしたシャツやサンダル、ホルタートップは不適切です。また、ひざに穴の開いたジーンズや袖なしのシャツ、ポケットが破れたシャツなどもいけません。

ムチを使うかステッキにするか？豚が最もよく見えるようにしなければなりません。ジャッジによって好みもあります。彼らが以前にジャッジしたショーの記録を見ておくのもいい考えです。豚が慣れていれば、ふつうは杖ステッキとムチのどちらでも良いようです。ハードル板はショーのリングでは使えません。豚に手を出して、一番良いポーズを取らせてもいけません。年上の先輩や出場者たちがショーのリングでどうやっているのか先に見ておきましょう。ショーの技術を競うコンテストに参加するのも腕を磨くのに役立ちますし、またジャッジの批評を聞く事もできます。実際のコンテストに参加するほど技術が身に付く方法は他にありません。

ショーでは豚の一番いいところを強調しましょう。腿が立派な豚だったら、できるだけジャッジと反対側を向かせて腿を強調しましょう。背中ラインが美しい豚は、なるべく横から見せるようにします。時にはジャッジは背中の筋肉の締まりを見たがる場合があります。これを予想しておけば、あなたは豚をうづくまらせて、背中ラインと筋肉の付き具合をジャッジに見せる事ができます。ジャッジから4~6メートルの距離のところが豚を見せるのに良い場所です。あなたの豚が他の豚から逃げないようにしなければなりません。リングの中で、比較的静かで、あなたとジャッジの間に豚が配置できる場所がベストです。くれぐれも、ジャッジはあなたではなく、豚を審査するのだという事を忘れないで下さい。

ジャッジは豚が騒ぎだしたりライバルと喧嘩をはじめても、仕方ないと理解してくれますが、豚を落ち着かせたり2匹の間に割って入るなどの努力はしなければなりません。喧嘩は上品に対応しても無駄です、すぐに止めなければなりません。目端の利くリングスタッフがいると、喧嘩が始まる前にハードル板で防いでくれるでしょう。

ジャッジにはいつも気を配ってください。彼らはいつでもあなたが豚をコントロールできているか見ています。あなたは豚よりも背が高く大きく見えるので、いつも豚の後に控えて立つようにしてください。ジャッジは豚を先に見てからあなたを見ます。あなたがエントリーしたクラスを、ジャッジが評価する時間はわずか 2、30 分です。実際難しいことですが、ジャッジが豚を見た時に豚の一番いいところが見せられるようにしなければなりません。ジャッジはそのとき、あなたではなく豚を見ます。

ジャッジがあなたの豚を入れる囲いを決定すると、リングスタッフから指示があるので注意しておきましょう。入れる囲いを間違ってしまうと、豚が移動しているうちにまぎれてしまって分からなくなる事があります。予想外の良い成績が発表されたとしても、それがあなたの豚かどうかすぐに確認してもらわなければなりません。